

令和4年度 小平市立小平第一小学校 学校評価計画表					
学校の教育目標		人権尊重の精神を基調に、生涯学び続ける国際性豊かな日本人の育成を目指して、以下の教育目標の具現化に努める。 ○考える子　・やさしい子　・やりぬく子　・元気な子			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】		子どもが輝き、笑顔あふれ、明日が待たれる学校　家庭・地域社会と連携した学校　教職員が個々の力を発揮し、協働して活動する学校　安全で美しく、安心して学び集える学校			
【目指す児童・生徒像】		○考える子　・やさしい子　・やりぬく子　・元気な子　今年度の重点目標は「考える子:異なる意見を受け入れ、深く考え主体的・創造的に問題解決に取り組む子供」			
【目指す教員像】		「教えるプロ」としての自信と使命感をもって、多くの課題に取り組む。子どものもつ良さを十二分に発揮させる教育活動を展開する。			
前年度までの学校経営上の成果と課題					
(成果) 自然に助け合ったり声を掛け合ったりできる児童の集団や学級・学年、教職員集団がつくられてきた。					
(課題) 地域との連携を深め、小平で基礎を培う生きる力(知・徳・体)の強化、習得→活用→探究で「わからないゼロ」、「いじめをしない・させない」道徳教育、これらを意図的・計画的に取り組む。					
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)
学力向上	「わからないゼロ」を目指す。	「わかる」・「できる」授業を工夫する。	「わからないゼロ」を目指して、習熟度に合わせた指導を充実させるとともに、学習規律や授業時間の確保を徹底する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の達成率100%
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 児童の達成率80～99%
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 児童の達成率50～79%
		GIGAスクール構想を推進する。	教師用デジタル教科書を活用し、わかりやすい授業づくりを推進するとともに、一人一台の学習用端末の日常的活用(文房具化)を推進する。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の達成率50%未満
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の達成率100%
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 児童の達成率80～99%
健全育成(いじめ防止)	「いじめをしない・させない」を目指す。	全校的な取り組みで社会性を育成する。	人間関係づくりをねらいにして、教育活動を実施する。	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 児童の達成率50～79%
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の達成率50%未満
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の達成率100%
		いじめの早期発見で児童の心に寄り添い指導し、「いじめをしない・させない」児童を育成する。	勸と経験だけによる指導を廃して、しっかりと調査等を行い、根拠・証拠(エビデンス)をもとにして指導していく。	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 児童の達成率80～99%
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 児童の達成率50～79%
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の達成率50%未満
地域連携	「地域とともにある学校」を目指す。	東京都型コミュニティ・スクールを活用した学校改革に取り組む。	東京都型コミュニティ・スクールとして、月に1回、学校経営協議会を開催し、コミュニティ・スクールを活用した学校改革に取り組む。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の達成率が90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満
		地域とWin-Winの関係をさらに推進する。	各学年・専科で年1回は外部の人材を活用し、体験を通した学習をする。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の達成率が90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
働き方改善・業務改革	「魅力ある教職」「持続可能な教育活動」を目指す。	計画的な遂行と時間管理を徹底する。	業務量の制限と時間管理によって、余裕のある仕事環境の創造に取り組む。	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の達成率が90%以上
		学校行事の見直しや業務量の削減でスリム化を実現する。	講師時間の確保や学校支援ボランティア及び学生ボランティアの積極的な活用により、個人の業務量を削減する。	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満
人材育成	「未来に生きる人間を育てる教師」として課題に取り組む。	校内研究をGIGAスクールの研修と関係づける。	校内研究は学年全員が参加する形を基本とし、教員全員が主体的に参加しながら、校内全体の授業力向上を図っていく。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の達成率が90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満
		指導技術を共有する。	一人一台の学習用端末を活用した指導改善やオンライン学習を意識した研究を推進する。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の達成率が90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
		2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満		
		1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満		